

新型コロナウイルス感染症対策及び開催態度について

大阪市障がい者スポーツ大会事務局

大会参加にかかる感染症の拡大を防ぎ、皆様に安心して大会に参加していただくため、以下の事項の遵守をお願いします。

また、感染症まん延時の大会開催可否の判断につきましては、以下のとおり定めます。

1 感染症対策

- ① 体調がよくない場合や感染の疑いのある人との濃厚接触の疑いがある人は、自主的に参加を見合わせる。
- ② マスクを持参・着用すること(競技時以外はマスクを着用すること)。
*マスクの着用が困難な場合はご相談ください。
- ③ こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。
- ④ 他の参加者、主催者スタッフ等との距離(できるだけ2m以上)を確保すること(手引きや介助を行う場合を除く)。
- ⑤ 大会開催中に大きな声で会話、応援等をしないこと。
- ⑥ 同行者は必要最低限の人数とし、多数で来場しないこと。
- ⑦ 感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従うこと。
- ⑧ 大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること。

※「体調確認書兼誓約書」にて、問題がないことをチェックし、大会当日にご提出のうえ、ご参加ください。

2. 大会開催可否の判断基準

新型コロナウイルス感染症まん延時の大会開催にあたっては、公益財団法人日本障がい者スポーツ協会が定めるガイドライン、各競技の統括団体等が定めるガイドライン、各関係機関の対応方針に従い、大阪市及び主管団体で協議の上、開催可否の判断をいたします。

なお、大会開催内容を変更する場合は、大会ホームページにてお知らせいたします。

ホームページ

開催可否を判断するタイミング

- 1)大阪市が自粛要請など、何らかの要請を発出した場合
- 2)運営スタッフ又は参加者に感染又は濃厚接触者が確認された場合
(対象者のみ参加停止とするケースもあります)
- 3)大会開催に必要なガイドラインに沿った運営ができないと判断した場合

※上記内容による緊急の場合は、申込後や大会当日に中止判断となる場合があります。

